

進路決定 注意事項は

水沢工高 岩手大特任教授講話

奥州

高校と大学が連携した地域人材育成に向け、県立水沢工業高校(日富)と校長、生徒376人で15日、岩手大生産技術研究センター花巻サテライト長の梅木和博特任教授を招いた講座が開かれた。生徒たちは梅木特任教授の講話を聞き、県内の状況を再認識。進路選択への意識を高めていた。

同高では、同大の「いわて半導体アカデミー」「地域連携」講座」として今回の講座を実施。電気科2、3年生を対象に進路決定へのアドバイスや岩手の企業紹介などを内容とした。

このうち2年生23人を対象にした講座は、進路決定時の注意事項を中心とした内容。梅木特任教授は初めに「ナンバーワンになることが大事」と切り出し、「日本は成熟社会となって正解



水沢工高で開かれた岩手大の梅木特任教授による講話

その後もデータを基に、ジョブ型雇用への移行が進んでいること、平均年収の都道府県ごとの状況、資格取得と平均年収との関連などを解説。「平均年収44位の岩手と1位の東京では200万円以上の開きがあるが、岩手でもナンバーワンの仕事をすれば良い」と強調した。

就職先選択については▽企業を徹底的に研究▽マインドセット(意識、ものの見方)をポジティブに保つーことが大事だと指摘。企業の研究では行きたいと思う会社でのインターンシップを勧めた。

聴講した江川里翔さん(16)は「社会のために役立つという気持ちが強かったが、地元にも良い企業がある」と知り、いろいろ考えたと思った。そのためにも高校時代にできるだけ多くの資格を取得したい」と話していた。

同高では、高大連携による地域人材の育成を勧めるためさまざまな展開を今後とも検討したいとしている。